

2418	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ぶどう祭りが賑わいを見せる中、千三百年の歴史を持つ勝沼一の名刹に多くの人が集まってきました。</li> </ul>
2443	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ここ大善寺で五年に一度しか一般公開されない貴重な仏様が御開帳されるのです。</li> </ul>
2520	<p>(NO)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● この奥に鎮座するのが秘仏・ぶどう薬師如来。その起源は、奈良時代に、東大寺建立で知られる行基が、ここ勝沼の地でぶどうを持った薬師の夢を見たこととされています。</li> </ul>
2530	<p>(NO)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大善寺は通称“ぶどう寺” 地元の農家から、代々大切にされてきたお寺なのです。</li> </ul>
2636	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 果樹農家の 大澤さんも夫婦そろってお参りにやってきました。</li> </ul>
2652	<p>(NO)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 葡萄畑を渡る風が、季節の移り変わりを感じさせる秋の夜長。けたたましいサイレンの音が勝沼の丘に鳴り響きます。</li> </ul>
2706	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 松明を持って走るのは地元の中学生たち。 ブドウ祭りのフィナーレを飾る、名物鳥居焼きが始まります。</li> </ul>
2725	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学生たちが持った一つ一つの松明は丘の中腹に大きな鳥居となって現れるのです。</li> </ul>

2743	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 豊かな実りに感謝を込めて。そして来年の豊作を願って・・・。</li> </ul>
2753	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 厳しい冬を乗り越えて新たな命の芽吹きがやってきました。</li> </ul>
2805	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 桜の花から少し遅れて咲き誇る桃の花。その様はまさに桃源郷です。</li> </ul>
2910	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 畑では、桃の受粉作業が始まりました。美味しい桃づくりには欠かせない仕事です。山梨で収穫される桃にはいくつもの種類があり、その中から、最も適した品種を交配させることで美味しい桃が出来上がるそうです。これぞ、長年の試行錯誤によって生み出された産地の知恵。</li> </ul>
2934	<p>(NO)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 果樹王国・山梨の人々は、一年に一度の収穫を楽しみに自然をいつくしみ丘の恵みに感謝して果実を育て上げます。</li> <li>● 古き伝統を守りながら、新しい挑戦を続ける実りの里。この地に暮らす人々は、畑を渡る風のように、軽やかにそして、大地に根をはる果樹のようにたくましく生き続けています。</li> </ul>